

向字

徳之島高等学校 進路通信
進路指導部 進路情報係 第7号
発行日 R7.12.23(火)



●あなたなら、ハンバーガー屋さんをどこに出しますか？



もし、あなたが「徳之島に新しくハンバーガー屋さんを1店舗出してよい」と言わされたら、どこに出しますか。人通りの多い場所でしょうか。学校の近くでしょうか。それとも、観光客が立ち寄りそうな場所でしょうか。理由も含めて、30秒だけ考えてみてください。徳之島には実際にハンバーガーを提供しているお店がいくつかあります。今回は特定のお店ではなく、「もし自分が店長だったら」という立場で考えてみましょう。この問いに正解はありません。大切なのは、「なぜ、そこに出そうと思ったのか」を説明できることです。



●ハンバーガー屋さんの話から見えてくること

ハンバーガー屋さんは、ただハンバーガーを作り売っているだけではありません。どんな人に食べてもらいたいのか、どんな時間帯にお客さんが来るのか、いくらなら喜んで買ってもらえるのか、1日にどれくらい売れそうか、こうしたことを考えながら、「人の役に立つ形」を考えていました。忙しい人にとっては「すぐ食べられる」ことが助けになります。家族連れには「安心して食べられる」ことが助けになるかもしれません。人の役に立つから、喜ばれ、感謝される。この流れがあるから、お店は続いている。

●学ぶことは、人の役に立つ力を身に付けること — 日々の授業とのつながり

この「相手の立場に立って考えること」は、特別な仕事だけに必要な力ではありません。友人との会話で言葉を選ぶとき、部活動で役割分担をするとき、アルバイトでお客様や職場の人と関わるときにも、同じ力が求められます。学校の授業で行っている、条件を理解して整理すること、資料や数字を読み取ること、「なぜそう考えたのか」をグループやクラスで言葉で説明することは、人の話を正しく理解し、相手に伝わる形で行動するための準備でもあります。つまり、学ぶことは、自分のためだけでなく、周りの人の役に立つ行動を選べるようになるための力を身に付けることなのです。

●冬休みにぜひ取り組んでほしいこと

こうした考え方を、学校の授業以外でも手軽に学べるのが、スタディサプリにある「よのなか科」という講座です。正解を覚えるのではなく、「なぜそう考えるのか」ということを、ハンバーガー店舗経営を例にして楽しく考えることができます。

冬休みは、まとまった学習時間を取りやすいですが、年末年始は兄弟や親戚が集まり、慌ただしい時期であります。そこで、短い時間でも見られる動画として、よのなか科の「ハンバーガー屋さんの店長になってみよう」を紹介します。この動画を見ると、物事を理由とともに考える、自分の考えを言葉にする、という練習ができます。

1) 店を出すならどこか、2) その理由、3) 誰の、どんな役に立ちそうか、の3つを書き出してみてください。3分あれば十分です。この講座には、ハンバーガー店の話以外にも、「先生に通知表をつけるしたら」、「自分に合った仕事を創り出す」といった、とても興味深いものもありますので、ぜひ見てみてください！

「よのなか科」に興味がわいてきませんか？

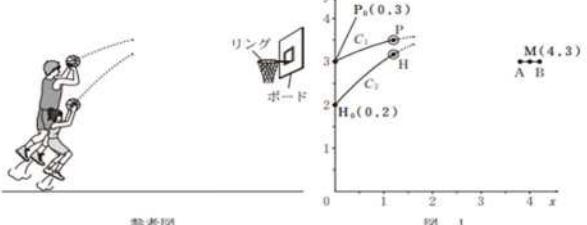
講師 藤原和博氏
(スタサプ・よのなか科)



※スタサプの配信動画から

●共通テストとも、似てるんです！

ちなみに、こうした考え方は3年生が間近に控えている大学入学共通テストでも大切にされています。共通テストでは、初めて見る資料や日常的な題材をもとに、授業で学んだ知識を使って考える力が問われています。ハンバーガー屋さんの話と似ていますよね。ここでいくつか共通テストの問題を紹介します。

<p>第2問は問8から問11までの4問です。それぞれの問い合わせについて、対話の場面が日本語で書かれています。対話とそれについての問い合わせを聞き、その答えとして最も適切なものを、四つの選択肢(①~④)のうちから一つずつ選びなさい。</p>	<p>問8 交番で、迷子になった猫の説明をしています。 8</p> <p>(共通テスト2024 英語・リスニング 大学入試センターHPより抜粋)</p>			
<p>太郎さんと花子さんは、バスケットボールのプロ選手の中には、リングと同じ高さでシュートを打てる人がいることを知り、シュートを打つ高さによってボールの軌道がどう変わるかについて考えている。</p> <p>二人は、図1のように座標軸が定められた平面上に、プロ選手と花子さんがシュートを打つ様子を真横から見た図をかき、ボールがリングに入った場合について、後の仮定を設定して考えることにした。長さの単位はメートルであるが、以下では省略する。</p> <p>(共通テスト2023 数学I・A 大学入試センターHPより抜粋)</p>	 <p>参考図</p> <p>図1</p>			
<p>A アキさんとハルさんは、探究活動で海岸へ出かけて海の生物の観察を行った。</p> <p>ア キ：海にはいろいろな生き物がいるね。</p> <p>ハ ル：そうだね。岩陰にはカイメンやイソギンチャク、ウニ、波打ち際にはカサガイやカメノテがいるね。</p> <p>ア キ：いくつかの生き物を捕まえて、水槽に入れて観察してみよう。</p> <p>ハ ル：からだの特徴からどの動物の仲間か分かりそうだね。</p> <p>ア キ：ところで、カイメンは岩に張り付いて動かないけど、(a)動物だったつけ。</p> <p>ハ ル：そうだったと思うけど、帰ったら図書館で調べてみよう。</p> <p>(共通テスト2024 理科・生物 大学入試センターHPより抜粋)</p>	<p>ノート</p> <table border="1"> <tr> <td>  <p>カメノテ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬い殻を持つ ・節のある器官を持つ ・脱皮する </td> <td>  <p>ウメボシイソギンチャク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やわらかい ・触手を動かす ・刺胞(刺細胞)を持つ </td> <td>  <p>ムラサキウニ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トゲで覆われている ・硬い殻を持つ ・原口は口にならない </td> </tr> </table> <p>図1</p> <p>組織の分化</p>	 <p>カメノテ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬い殻を持つ ・節のある器官を持つ ・脱皮する 	 <p>ウメボシイソギンチャク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やわらかい ・触手を動かす ・刺胞(刺細胞)を持つ 	 <p>ムラサキウニ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トゲで覆われている ・硬い殻を持つ ・原口は口にならない
 <p>カメノテ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬い殻を持つ ・節のある器官を持つ ・脱皮する 	 <p>ウメボシイソギンチャク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やわらかい ・触手を動かす ・刺胞(刺細胞)を持つ 	 <p>ムラサキウニ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トゲで覆われている ・硬い殻を持つ ・原口は口にならない 		

このように、共通テストでは教科の知識だけでなく、日常生活でも必要となる「考える力」が問われます。文章や資料を読み取り、情報を比べて判断する力は、テストだけでなく、日々の生活や進路を考える場面でも役立ちます。そのため、普段の学習では基本的な知識を確実に身に付けるとともに、「なぜ」「どのように」を意識して学ぶことが大切です。他の教科についても何が問われるか見てみましょう。

○国語：文章や資料を読み、要点や筆者の考えを正確につかむ力。

○地歴・公民：SDGsや選挙、成人年齢など、現代社会の出来事を、資料をもとに考える力。

○情報：SNSなど身近な題材を通して、情報の信頼性やデータの活用について考える力。

●進路とは、単に進学先や就職先を決めるではありません。社会の中で、自分は何を考え、どう行動していくのかを考え続けることです。この冬休み、少し立ち止まって「自分ならどう考えるか」を意識してみてください。その積み重ねが、学校生活にも、その先の人生にも、必ずつながっていきます。